HEYA8

305452

□要

□明

HEYA8□胞株は、ヒト卵巣がんのよく特徴づけられたモデルであり、もともと乳頭状嚢胞腺がんの患者から樹立されたものである。この □胞株は、その侵襲的な増殖と転移能で特に注目されており、卵巣がんの病態生理や治療法に関する研究で広く用いられている。 HEYA8□胞は、がんの進行に関与するケモカインであるインターロイキン -8（IL-8）の発現について、広範に研究されてきた。 IL-8はオートクリン性増殖因子として作用し、増殖、血管新生、および腫瘍の浸潤性を促進する。 特に、HEYA8□胞において、IL-8の発現レベルが高いほど、腫瘍の増殖や微小血管密度の増加と相関することが示されている。 IL-8ベクターを用いた実験的トランスフェクションにより、IL-8の発現増強が腫瘍の増殖を著しく促進する一方、中和抗体がこの増殖を抑制することが実証されている。
HEYA8□胞は、低酸素状態などの様々なストレス条件に対する卵巣がんの反応を研究するためにも利用されてきた。 低酸素状態は、PI3K/AktおよびP38 MAPKが関与する経路を介して、これらの□胞におけるIL-8の過剰発現を引き起こす。これらの経路の活性化は、AP-1やNF-κBなどの因子を介してIL-8遺伝子の転写を促進し、低酸素環境への腫瘍の適応に寄与するとともに、その生存および転移能を支えている。 その結果、HEYA8□胞の侵襲性を抑制し、腫瘍の進行を遅らせる潜在的な戦略として、PI3KおよびP38 MAPK経路を標的とする阻害剤の研究が進められている。

ティッシュ	卵巣
病気	高悪性度卵巣漿液腺がん

同義語

- HEY-A8
- Hey-A8
- Hey A8
- HEYA8
- HeyA8
- Heya8

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

識別子

引用

HEYA8（Cytion カタログ番号 305452）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_8878

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C、5%CO2、加湿雰囲気。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ
播種密度	1-3×10^4/cm²

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	特定せず
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB